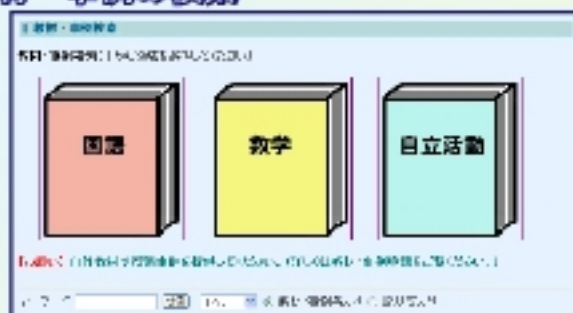




課題別図書館について

特別支援学校における学習は、対象児童生徒の課題に応じて内容や形態など多様であり、授業担当者がその都度、工夫して授業を進めているのが現状です。神奈川県特別支援学校課題別学習研究会では、その工夫を蓄積し、共有化することにより、児童生徒の課題に合ったものを用意することや目的にあった効果的な学習を展開することができる考え、授業の教材や事例を収集し、多くの人が共有できる情報システム「課題別図書館」を平成18年度より立ち上げました。

教材・事例の検索



- ・国語、数学、自立活動の領域またはキーワードから検索できます。
- ・領域はさらに以下のように分類されます。
 - 国語…読む、書く、聞く、話す、その他
 - 数学…数、図形、数量、その他
 - 自立活動…手指の機能、目と手の協応、運動機能、数、言葉、色の弁別、形の弁別、その他
- ・キーワードは教材・事例名と説明文から検索できます。



- ・一覧には教材事例名、画像、作成者、アウトプットの情報が表示されます。
- ・アウトプットのアイコン表示により、引き出せる情報の種類がわかります。
 - 画像 テキスト教材 指導案等 ソフトウェア
- ・教材・事例名をクリックすると詳細が表示されます。
- ・日付順、アクセス数順、番号順に並びかえができます。



- ・教材や事例の詳細ページが表示されます。
- ・基本項目
 - 教材・事例名、作成者・授業者等、所属（学校名等）、実施（作成）年月、教材（事例）の説明
- ・教材・事例
 - 写真（教材や実践の様子等の画像）、テキスト教材、指導案等（指導案や教材の説明書）、ソフトウェア
- ・ソフトウェア教材について
 - ソフトウェア名、動作OS、必要スペック、必要なソフトウェア、その他

教材・事例の登録

特別支援学校等で利用できる教材や実践事例を集めています。プリント教材をはじめ、様々な教材、ソフトウェア教材、または実践事例等、生徒の課題に合わせて活用できるものなら何でも構いません。みなさまの工夫をより多くの人に知ってもらい、相互に活用することで、個々の生徒に合ったよりよい授業ができると思われれます。ご協力をお願いします。課題別図書館の「教材・事例登録」に様式がありますので、メールに添付して、教材等と一緒に神奈川県特別支援学校課題別学習研究会事務局にお送りください。

ソフトウェア教材の開発

大学等の外部機関と連携してソフトウェア教材を開発する事業を行なっています。日頃の教育活動の中で児童生徒に活用できるソフトウェア教材のアイデアを集めています。これは児童生徒の課題にあった学習を実現できるだけでなく、社会に貢献できる有意義な実習課題を学生に提供することにもなります。また特別支援教育の発展に必要な人的ネットワークの形成にもつながります。

- ・平成21年度実績 神奈川県立工科大学創造工学部ロボット・メカトロニクス学科・吉野研究室

送り先・問い合わせ等

神奈川県特別支援学校課題別学習研究会事務局 mail@kadaibetsu.sakura.ne.jp